

# 世界遺産登録に向けて

## 佐渡金銀山絵巻をひもとく(12)

### ― 粉成(こなし) ―

「粉成」とは、鉱石を細かく砕き、粉末状にすることをいいます。

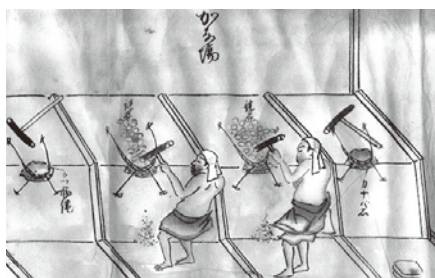
粉成は「石扣」から始まり、縦・横・高さを3尺の石積みと土でつき固めた「かな場」で鉱石を砕きます。かな場には硬い黒石の「かな場石」が置かれ、鉱石が転げ落ちないように「クツ輪縄」がかけられています。そこで鉱石を、重さ3〜4貫目の「かな場鎚」で細かく砕きます。

金銀の含有量の高い鉱石は粉状になるまで細かく砕き、馬の尻尾で作った目の細かい篩にかけます。篩の目を通った粉状の鉱石を「馬尾粉成」といい、これを水桶に入れてかき回し、濁ったうわ水と、桶の底に溜まった砂に分けます。

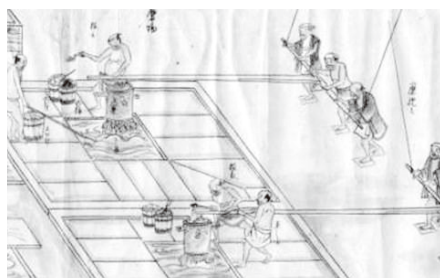
品位の低い鉱石は砂状に粗く砕かれ、馬尾粉成で篩に通らなかつた鉱石といっしょに「石磨」にかけます。これも、いったん水桶に入れてかき回し、うわ水は別の器に移し、残った砂状の鉱石を石磨で何度もすりつぶし、粉状にします。

この作業は、石磨1基に5人がか

り、1日で120kgあまりの鉱石を粉状にしました。



かな場での石扣の作業。良質な鉱石は粉状に、それ以外は砂状に砕く



石磨の上磨は下相川吹上の石材、下磨は外海府鹿野浦の石材を用いた

◆市役所世界遺産推進課(金井就業改善センター内) ☎63-5136

## 生活情報 さど

「あやしい」と思ったら、契約前に消費生活センターへ

### 「断わったのに置いていかれた配置薬」

配置薬の訪問販売(※1)に関する相談が増えています。必要な分、使った分だけ薬を補充してくれる配置薬は便利なシステムですが、断つたのに無理やり置いていく、高額な健康食品を勧める等のトラブルも発生しています。

※1 配置薬の訪問販売は、医薬品の販売の業態のひとつ。販売員(配置員)が消費者の家庭にあらじめ医薬品を預けておき、数か月ごとに巡回訪問を行って使用した分の代金を受け取り、さらに新しい品物を預けるシステムである。

#### 【具体例】

- ・「病院に定期的にかかって、薬をもらっているのに、いらぬ」と断つたのに、配置薬を置いていき代金を請求された。
- ・配置薬の点検に来るたび、玄関で長時間話し込み、親しくなつてから高額な健康食品を売りつけられた。
- ・一人暮らしで配置薬はほとんど使っていないはずなのに、「カゼ薬7箱分」など高額な請求をされ、納得いかない。

・「もう配置薬は必要ないので、引

き取ってほしい」と伝えたら、強口調で責められ、怖くなった。

#### 【アドバイス】

○配置薬は、業者から薬を預かり、次回の来訪時に使った分だけ支払う仕組みです。自分の判断で薬を処分しないようにしましょう。

○いちど薬箱を置いてもらうと、定期的に業者が来ます。必要が無いなら、初回の訪問時にきっぱり断りましょう。

○不要になったら速やかに引き取りを申し出ましょう。

配置薬の請求や解約方法で不審なことがあれば、消費生活センターへお問い合わせください。

#### お問い合わせ

市役所総務課 市民相談室 消費生活センター係 (佐和田行政サービスセンター内) 佐渡市立消費生活センター (平日) 午前9時〜午後4時

☎57-8143

